

龍城球児

＜新会長就任のご挨拶＞

韮山高校野球部OB会の会長に就任致しました大川明です。微力ではございますが、韮高野球部の名誉と伝統を継承発展させるため、皆様との親睦交流を図るために尽力していく所存でございますので、お力添えをよろしくお願い申し上げます。

就任に当たりまして、これまで18年間、当OB会の発展と活性化にご尽力されました豊岡武士前会長(高14)に御礼を申し上げたいと思います。韮高野球部が夏の甲子園初出場の1995年8月に本会が発足し、岡本重幸初代会長(中49)の後を豊岡会長に務めていただきました。

創部100周年記念誌の発刊から2016年120周年記念事業と当OB会を大いに盛り上げていただきました。この間、宇田嘉隆君(高22)、小櫻充久君(高28)、小澤通利君(高28)には事務局長・次長として支えていただき感謝申し上げます。

これからは新体制で伝統を絶やさないう、そしてまた甲子園で皆様と共に校歌斉唱できることを期待して活動してまいります。

今後ともOB会活動への一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

大川 明(高20回)



平成三十年三月
韮山高校野球部OB会事務局

援を賜りたくお願い申し上げます。尚、OB会員及び韮高野球部を愛して頂いている皆様におかれてましては今年もご支援と温かいご声を賜りたくお願い申し上げます。

謝の意を表したいと思います。育てて頂いた小雀監督に心より感謝の意を表したいと思います。尚、OB会員及び韮高野球部を愛して頂いている皆様におかれてましては今年もご支援と温かいご声を賜りたくお願い申し上げます。

平成29年度を振り返って

龍城球児サポーターズクラブのご案内 (静岡県立韮山高等学校野球部を支援する有志の会)

創部120周年を機に、日々真剣に活動に取り組む韮高野球部の応援を続ける方々の希望を結集する形で発足した有志の会です。野球部OB会と連携しながら、韮高野球部をこよなく愛し、韮高野球部を応援しながら、それがサポーターズクラブ会員の充実した人生の活動に寄与できることを願っております。

OB会員皆様のお知り合いで、趣旨をご理解いただいで共に楽しく活動して下さる多くの仲間を募集しております。入会のお問合せはOB会事務局又は下記までお願いします。

龍城球児サポーターズクラブ 入会金:2,000円 年会費:3,000円

会長:秋津 温(元韮高野球部長・教頭)

TEL:055-972-9089 E-Mail:aki-ae@wa3.so-net.ne.jp

平成28年度OB会事業報告(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

1. 活動状況(主な行事)

- 平成28年 8月14日 平成28年度OB総会
- 平成29年 4月18日 野球部年報・OB会報「龍城球児」第20号発行
- 平成29年 3月23日 卒業生OB会入会式
- 平成29年 5月14日 新入部員父母会歓迎会(父母会主催)
- 平成29年 6月25日 夏の県大会背番号授与式

2. 会員数及び会費納入状況(平成29年7月31日現在)

名簿搭載 819名(うち所在不明・永眠者173名 除く平成29年度卒業生)

実質会員 646名

会費納入 本年度分 296名 1,130千円(内過年度分5名45千円)

収支決算書(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

単位:円

収入の部	金額	摘要	支出の部	金額	摘要
前期繰越金	552,497		部活動援助等	495,222	バット10本 試合球1D ヘルメット8ヶ 他
年会費	1,129,892	296名(締後5名)	コーチ派遣	20,000	JR東日本練習参加費
寄付金繰入	323,199	記念事業寄付金	会報発行	95,796	デンシ印刷800部
預金利息	3	静銀利息	卒業生入会式	45,000	図書カード15名分
雑収入	90,000	グッズ販売等	慶弔費・他	50,200	4名分(生花 寸志)
			会議費	21,944	総会 父母会等
			通信費	192,472	別納郵便等
			事務費	46,321	印刷 コピー 封筒等
			HP関係費	26,784	ワダックス更新料
			グッズ購入費	47,294	帽子代(@6710×7)
			雑費	3,094	手数料他
			次期繰越金	1,051,464	内、故久保氏寄付金 500,000円
合計	2,095,591		合計	2,095,591	

※送金料は各費目に含む

収支決算報告書



一年間を振り返って

主将 藤澤 光

一年間、多くの御声援と励ましのお言葉をありがとうございます。

五年ぶりの秋季大会県大会出場、創部百二十周年式典、選抜高等学校野球大会二十世紀杯静岡県代表など、今思えば様々な事に恵まれた一年でした。

残念ながら春季大会、夏の甲子園大会が、一回戦で敗退してしまっただけ、何ともくいが残って仕方がありません。ただ、野球部の仲間と過ごしてきた日々は、人生の中でかけがえない宝物になると思います。

「葦高の野球とは何だろう。」
バッテリーを中心に一球一球守備位置を変えグラウンドに立つ九人だけでなくチーム全員で守り抜き、長打に頼らずチームバッティングや走塁、自慢のデータで勝利を掴む、まさに全員野球だと思います。これはどこの学校も真似できない最大の武器だと思います。

先輩の方々から受け継いだこの最大の武器を伝統と共にこれからの葦高野球部も継承していつてくれると思います。また、僕たちもこのたくさん経験させてくれた葦高野球部を応援し続けたいと思います。

最後になりましたが、OB会の方々や父母会の方々、先生方など御支援していただいたすべての方々本当にありがとうございました。

守備位置	氏名	出身中学
二塁手	市川 由登	富士岡
投手	庄司 啓人	三島北上
二塁手	藤澤 光	三島錦田
中堅手	池田 祐樹	函南
左翼手	櫻井 駿	大仁
捕手	戸村 優太	熱海多賀
投手	橋本 雄樹	三島北上
二塁手	谷本 竜馬	函南
右翼手	真野 宏大	函南東
投手	江本 圭佑	清水
三塁手	佐藤 至	三島山田
捕手	内田 勝太郎	宇佐美
一塁手	高嶋 海斗	三島錦田
一塁手	畠 涼太郎	三島中郷
マネージャー	鈴木 春衣	長 泉

葦高野球部の更なる活躍とOB会の発展を願って

前野球部OB会長 豊岡 武士



昨夏の野球部OB会総会において、新たに大川明OB(高20回)にOB会長を託しました。

思い返しますと、我らの葦高野球部が平成7年夏の甲子園大会に出場した際は、事務局長としてOB会の総力を挙げて寄付金集めをしたことを始め、OBや同窓生等の応援バス、新幹線の手配など猛烈に忙しくも楽しい思いをしました。お陰様で決勝戦まで戦えるほどの温かい御寄付が集まり、地域からも愛されている葦高野球部であることを実感するとともに、大応援団がスタンドを埋め尽くす中、その期待を一身に背負った野球部は見事ベスト16という快挙を成し遂げてくれました。皆様からの浄財の残余は、その後「甲子園基金」として残し、現在も野球部に限らず広く葦山高校の支援に活用されています。

また当時は創部100周年誌の編さん作業も進めており、白井野球部長などのご協力を得て『動くますぐに飾りなく』を刊行し、翌年の100周年記念式典の参加者へお渡しすることができ、併せて我が国の野球「事始め」と言ってもよいような記録も掲載しましたので、甲子園や野球博物館へも寄贈しました。

その後、OB会長に推され、昨年まで20年近く務めさせていただきました。この間、小雀OB監督を迎えることができ、以降、同監督の努力により本校野球部を県内屈指の強豪校にまで育ててくれたことは皆さんご存知のとおりです。そして昨夏、竹井新監督に引き継いでくれました。

平成18年には創部110周年記念式典を挙行。この時には昭和25年春の甲子園全国優勝と平成7年夏の甲子園大会での活躍を感動的な詩に詠って下さった阿久悠(故人)さんの詩碑を建立することができ、さらに脇村全国高野連会長(当時)をお招きして講演をしていただきました。脇村さんの思い出(湘南高校出身、本校とも試合)があって、一高校野球部の式典に出席されたという異例のことであったと思います。さらに、平成28年には創部120周年記念式典を開催し、東京大学野球部の浜田監督による講演もしていただくことができました。

一方、父母会、葦高PTAや後援会と協働して遠征バス(平日は通学バス)を導入(甲子園基金から借入)することができましたし、その他、毎年の『龍城球児』の発行、堀井JR東日本野球部監督(高32回)による選手指導、夏の大会前の用具類の寄贈、OB会入会式の実施など、数多くの現役野球部員への応援ができたものと思っています。

このようなOB会活動に当たっては、多くのOBの協力があったからこそ出来たことであり、その協力を改めて深く感謝申し上げます。また、校長先生はじめ学校当局、歴代の父母会の皆様などのご理解ご協力にも心から感謝いたしております。とりわけ、永くOB会会計を担当してくれた小澤OB、龍城球児の発行や活動計画等を担当してくれた小櫻OBには大変ご苦勞をお掛けしたことと思います。本当にありがとう。

今後におきましても、私は葦高野球部の応援からは退くことはありません。未来永劫葦高グラウンドで鍛えられ甲子園を目指す選手たちの毎年の活躍と、大川新会長のもと選手をサポートするOB会の益々の発展を心から祈念し、OB会長退任にあたっての御礼の言葉といたします。

新チーム紹介

伝統と誇りを胸に

主将 佐藤 広陸

日頃から野球部の活動への御協力、ご支援をありがとうございます。
新チーム発足直後の秋季大会では、県大会初戦敗退という悔しい結果となりましたが、春季大会、夏季選手権大会での悔しさを晴らすため、精一杯練習に励んでいます。

今年のチームの特徴は、例年に比べ選手層が厚いところにあると思います。そのため、スタメン入り、ベンチ入りといったメンバー争いが激しいものになり、チーム内の競争心が高まっています。四月には新入生が入部してくるのでさらに競争が激しくなり、より強靱なチームへ進化していくと思えます。

最大の勝負の舞台となる夏季選手権大会まで半年を切りました。龍城球児として伝統と誇りを胸に、目標である全国制覇に向けて全力で精進します。これからも応援よろしくお願います。

新チームの展望

監督 武井 淳

本年度もOB会をはじめ、多くの関係の方々の御支援と御協力により、野球部の活動が運営できましたことに感謝申し上げます。

葦山高校に赴任して三年目を迎えて、秋季より長い間監督を務められた小雀先生からチームの指揮を譲り受けることとなりました。その責任の重さを実感しておりますが、これまでの伝統を重んじながらも新たな風を吹き込み、輝かしい歴史を築き上げていけるように精進していきたいと思います。

さて、新チーム発足時より、選手たちには人間的成長を求め、選手自身が主体性を持って活動しながら、日々『進化』をしています。秋季大会では試行錯誤を繰り返しながらも、試合を重ねるたびに力をつけ、東部大会を勝ち抜くことができました。また、県大会で敗戦を喫した静岡市立高校の結果から、県内における自チームの立ち位置や課題も確認することができました。

オフシーズンには野球だけにとらわれず、幅広い角度から物事を捉え

守備位置	氏名	出身中学	新学年
一塁手	佐藤 拓実	沼津三	2
遊撃手	塩谷 和史	函南	2
三塁手	土屋健太郎	大仁	2
投手	齋藤 一平	葦山	2
中堅手	杉山 侑大	沼津四	2
遊撃手	高橋 敏希	函南東	2
右翼手	濱村麟太郎	門野	2
中堅手	矢野 翔太	市立沼津	2
二塁手	矢ノ下瑠介	函南	2
三塁手	渡邊 慶吾	静浦	2
左翼手	斉藤 康輔	山田	2
投手	島田 隼弥	葦山	2
一塁手	清野 太壱	中郷西	2
捕手	武山詢之介	熱海	2
投手	松本 寛	長泉	2
捕手	秋山 和也	長泉	2
二塁手	阿部竜乃介	葦山	2
一塁手	松本 康汰	三島北上	2
マネージャー	小金澤多映	大岡	3
マネージャー	石川野々花	葦山	2

守備位置	氏名	出身中学	新学年
右翼手	稲葉 雅哉	函南東	3
左翼手	大谷 尚輝	三島北上	3
投手	小出 竜輝	中伊豆	3
一塁手	近藤友千哉	函南	3
三塁手	佐藤 広陸	長泉	3
捕手	鈴木歩未也	清水南	3
投手	竹田 太門	伊東南	3
右翼手	飯塚 海知	清水	3
二塁手	東谷 雅人	修善寺	3
一塁手	赤間 瞭	函南東	3
三塁手	源久 将盛	函南	3
中堅手	澤里 拓真	長岡	3
投手	青野 克恕	錦田	3
投手	吉田 侑暉	長泉北	3
捕手	内田 陽仁	天城	2
投手	山道 幹太	伊東南	2
左翼手	大川 玲於	天城	2
マネージャー	宮崎帆乃花	葦山	3
マネージャー	河西 愛里	修善寺	3
マネージャー	佐野 天音	錦田	3

様々な分野を野球につながるように入り入れたことにより、体力や精神力はもろろんのこと、技術や考え方も大きく変容を遂げました。

選手権大会に向け、皆様のご期待に応えられるよう、また、皆様から応援していただくにふさわしいチームとなるよう、選手とともに努力をして参ります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

葦高野球部に仲間入りをして

副部長 黒津真弓

葦山高校に着任して6年になります。九州で生まれ育ち、数年の講師経験を経て静岡県で採用されました。二十二年の教員生活の中で運動部ではバレーボール部、バスケットボール部などに携わらせていただきましたが野球部の仲間入りするのは初めてでした。

高校生活を送った福岡県も野球をはじめスポーツが盛んで、ラグビーやバスケットボールなど全国で活躍する高校が多くありました。当時から「高校野球」に対する憧れはありましたが、自分がスポーツと縁遠かったため、このような形で葦高野球部の仲間入りをさせて

いただき嬉しく思っています。

今年にはベンチでの応援、台湾チームとの交流試合など野球部に就いていないと出来ない貴重な経験をさせていただきました。そして何よりも部員やマネージャーがどんな思いで野球と向き合っているのかを間近で感じる事ができました。これからは会計の担当や声援中心となりますが、少しでも葦高野球部に貢献できたらと思っています。



平成30年1月14日(日)に、「JR東日本」野球部監督の堀井哲也氏(高32回)が葦高グラウンドで打撃指導を行いました

平成30年度予定		
3/10 島田商業(島商)	4/15 袋井商業(袋商)	5/27 富士/四日市(富士)
3/11 袋井/松坂(袋井)	4/21 掛川東(掛東)	6/2 三島南(三南)
3/17 浜松大平台(浜大台)	4/22 浜松城北工業(浜城工)	6/3 浜松市立(浜市)
3/18 山梨/静岡学園(本校)	4/28 浜名(浜名)	6/9 田方大会
3/21 藤枝東(本校)	4/30 沼津市立(沼市)	6/10 湘南/高崎(湘南)
3/23・24・25 春季大会	5/3 御殿場南(本校)	6/17 磐田北/裾野(本校)
28・31	5/4 浜松北/浜松湖東(浜北)	6/23 沼津工業(沼工)抽選会
4/1 御殿場(御殿場)	5/5 浜松工業(浜工)	6/24 三島北(本校)
4/8 清流館(清流館)	5/12 清水西(本校)	6/30 浜松湖南(湖南)
4/14 掛川工業(掛工)	5/13 焼津水産(焼水)	7/1 富士市立(富市)
	5/20 招待試合(本校)	7/7 選手権大会開会式
	5/26 沼津東(本校)定期戦	7/8 選手権大会1回戦

試合日	戦績	備考
7/30	葦高一対戦校	備考
8/2	8-8(静岡学園)	
8/5	8-11(浜名)	
8/7	2-3(富士森)	
8/13	7-8(桐陽)	望月杯
8/19	19-11(富士)	秋季県大会2回戦
8/23	0-9(沼津商業)	秋季県大会3回戦
8/27	10-2(伊東商業)	秋季県大会敗者2回戦
9/3	6-0(沼津東)	秋季県大会5位決定戦
9/9	0-2(掛川工業)	
9/10	1-3(科学技術)	
9/18	3-5(静岡市立)	秋季県大会1回戦
10/8	7-2(島田)	
10/11	5-4(新社)	
10/24	6-5(新社)	国際交流試合
11/3	7-8(桐陽)	
11/4	9-9(三島北)	
11/11	10-1(袋井商業)	
11/12	3-3(富士)	
11/18	14-3(沼津城北)	
11/19	15-6(下田)	
11/19	19-4(南伊豆)	
11/19	12-6(清水東)	

